



電気代減額！ 事業者等に支援金！

宮川 大樹（みらい）



問／国で令和5年1月使用分から2割相当の負担軽減策として実施している電気・ガス価格激変緩和対策事業は、9月末で終了する方針だ。実態として、電気料金は特に年末年始に上昇することが懸念されるため、冬のエネルギー価格高騰対策をどうするのか。

答／当市のような雪国では、冬場の電気使用量が多いため、市民生活に大きな影響を及ぼすと懸念している。全国市長会などを通じて、国に支援継続の要望を行うとともに、状況に応じて適切な対応を図っていく。

問／令和5年6月から大手電力会社が電気料金を値上げし、価格高騰が続いている中、当市がエネルギー価格高騰支援金の支給を提案したことを高く評価している。申請時期はいつからか。

答／令和5年7月下旬を予定している。

問／上越火力発電所は、次世代エネルギーの水素燃料の利活用が期待されている。発電所立地自治体としての優位性をさらに伸ばすべきでは。

答／高い環境性能を誇る火力発電所を有する当市は、脱炭素社会の実現に向けて、重要なエネルギー拠点としての役割を果たしていくことが期待されている。火力発電所や天然ガスの可能性について市民に啓発していくとともに、企業誘致においても、この優位性を当市の強みと捉え取り組んでいきたい。



しっかり把握すべき 高齢者の移動の課題

宮崎 朋子（創風）



問／当市の65歳以上のうち、自家用車を運転し続けることや運転免許証返納への不安、病院やスーパーマーケット等への移動の不便さなどの課題を抱えた高齢者は多いと考える。第2次上越市総合公共交通計画の後期再編計画の策定では、高齢者へアンケートを実施し、しっかりと分析して計画に反映すべきと考えるがどうか。

答／市では利用者数に基づく評価、利用促進策の実施状況等の検証を行った上で、「上越市地域公共交通活性化協議会」で、素案の検討作業を進めている。高齢者向けのアンケートを実施する予定はないが、「市民の声アンケート」の意見や、バス利用者の乗降調査の実施、町内会や地区単位での懇談会などを通じて意見交換を行った上で、「地区公共交通懇話会」で、地域の公共交通の再編方針について意見を伺うなど、市民の声を幅広くお聴きしていく。

問／高齢者の快適な移動の実現には、公共交通を利用できない、または利用しない理由の調査や分析も必要と考える。加えて、心配する家族の声も反映してほしい。また、社会資本整備総合交付金事業に、地域公共交通再構築が加わったことも期待するがどうか。

答／市として必要な支援を提供できるよう、ご家族の心配の声、国の政策も含め、精査しながら後期計画策定に取り組む。



グラウンド・ゴルフの 専用コース新設を

飯塚 義隆（久比岐野）



問／高齢者の健康増進と生きがいに寄与するとし、多くの市民がグラウンド・ゴルフを楽しんでいるが、当市には専用コースがないため、近郊の河川敷や



学校のグラウンド、空き地などで競技している。隣接する糸魚川市は、公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会公認コース3面を有し、妙高市では令和8年度の完成を目指し専用コースを整備中である。当市も専用コースを整備すべきと考えるがどうか。

答／専用コースの整備要望については、令和4年6月に上越市老人クラブ連合会から要望があったほか、令和5年4月の中郷区における移動市長室においてもお聴きしている。老人クラブ連合会とは、付帯施設としての駐車場やトイレがあり、比較的使用が競合しない、福祉交流プラザの広場を試行的に利用いただくことで、協議が整ったところである。

その中で、グラウンド・ゴルフ場に求められるニーズや課題を把握し、老人クラブ連合会とも意見交換を重ねながら、今後の整備の在り方について検討していく。グラウンド・ゴルフは、ゲートボールとともに高齢者のメインスポーツであることから、推進に向けて努めていく。